

未来へ(東中だより)

第16号 令和4年1月14日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ
「知性・感性・耐性」を
共に高める生徒の育成



TEL:0952-52-2529 Fax:52-8184

https://www.education.saga.jp/hp/higashifuri-j/

困難に立ち向かい、努力の継続を 3学期 始業式の話から

今年令和に入って3回目のお正月でした。そして干支は、「トラ(寅・虎)」です。虎と言えば、古くから武勇や王者のイメージをもち、龍と同格の霊獣として認識されていました。

貴重なものを指す言葉として「虎の子」、大切なことが書かれている書物を「虎の巻」と呼んでいます。

その一方、危険なものであるというイメージも「虎」にはあります。「虎を野に放つ」(危険なものを放置すること)「虎の尾を踏む」(虎の尾を踏めば、ただでは済まないことから、非常に危険を冒すこと)なども、そういう意味合いで使われています。

「虎穴に入らずんば虎児を得ず」(大きな成果を望むなら、危険は避けてはいられないこと)という言葉もあります。危険を冒すことを皆さんに奨励するわけではありませんが、成果を求めるならば、勇気をもって新しい状況に飛び込むことも必要です。今までやってこなかった努力に足を踏み込むことが大切です。そして努力を継続することによって、目標達成の可能性を高めることができます。

心理学者のヘルマン・エビングハウスは、「忘却曲線」というものを示しました。それによると、復習しなければ8割を忘れてしまうが、繰り返し学習することで8割を習得するということです。これは脳の記憶に関する研究の結果ですが、知識だけでなく技能や考える力も同じでしょう。

新年を迎えて、生徒の皆さんが、勇気をもって困難に立ち向かい、努力を継続し、知性や耐性を高めることを願っています。

東中生みんなで頑張る

HGS!

H...表情豊かに よい挨拶!

G...学力高める 時間の管理!

S...精一杯の 自問清掃!



「矢を両手で引く張る」象形

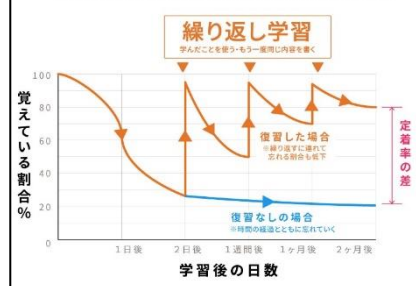
寅



虎

「とら」の象形

エビングハウスの忘却曲線(脳の忘れのしくみ)より



旧生徒会役員との懇談

終業式の日、旧生徒会役員の退任式を行いました。1年間しっかりと全校をリードした役員の方皆さん、お疲れ様でした。校長室で役員の方の労をねぎらった折に、生徒会への贈る言葉を聞きましたので紹介します。

- ◆古舘「東中三訓である挨拶・時間・清掃の徹底を」
- ◆長野「全校生徒の意見を取り入れた活動を」
- ◆小瀬「今までやったことのないような楽しめる企画を」
- ◆中村ひ「元気のいい挨拶を徹底して」
- ◆青木「人に言われずとも、いつでもきちんとした服装を」
- ◆村岡「月一満点テスト、さらに工夫して基本を伸ばして」
- ◆小田「定期テストでの学年平均7割、目標達成を」
- ◆吉岡「プルタブ収集とその有効活用を」
- ◆小野「掃除のやり方や道具の使い方を徹底して」
- ◆中村し「形にとらわれずユーモアに溢れた体育大会を」
- ◆筒井「1年間健康で元気な生活を送って」
- ◆陣内「広報新聞など日常生活で笑える企画を」
- ◆小國「図書室のマナーを高め、放送を楽しく」



<表彰 おめでとう>

- 第65回西日本読書感想画コンクール
佳作 3年 久保遼太 川上清菜
- 佐賀県中体連表彰
模範競技者賞 軟式野球部3年 中村太飛
- 第47回佐賀県吹奏楽アンサンブルコンテスト
金賞 打楽器六重奏 吹奏楽部
- 第43回ニッタク杯卓球選手権大会
個人 第3位 1年 吉富愛歌

